

国際革新運動におけるチュチェ思想の意義

白頭山チェコ朝鮮友好協会、チェコ・チュチェ思想研究・具現グループ
第1副委員長、朝鮮友好勲章受勲者ルカシュ・プロベル

朝鮮民主主義人民共和国の歴史と反革命が起こって資本主義が復活された旧社会主義諸国の歴史を対比的に見れば、国際的進歩運動におけるチュチェ思想の地位はもっと浮き彫りにされます。

国際的進歩運動におけるチュチェ思想の重要な地位はまた、世界の社会主義陣営が崩壊した後、反革命的攻勢が強化されてもっとも困難であった時期に朝鮮の社会主義をどのように固守したかによっても明白であります。

朝鮮の社会主義の威力は、基本的に全党的に、全社会的にあらゆる分派勢力と敵対勢力を一掃した金日成主席と金正日総書記が打ち固めた一心団結によって保証されます。

旧社会主義諸国では資本主義を復活する上で、内部の基本力量を成した反革命分子が政党の指導部にいたことにより、高価な代償を払いました。

政治的自主性と経済的自立は社会主義朝鮮を擁護し発展させる上で依然として決定的要因となっています。朝鮮労働党は事大主義を排撃し、他国の政治路線を受け入れませんでした。これによって朝鮮労働党は1950年代の中葉から次第に国際共産主義運動と労働運動に蔓延していた日和見主義と修正主義の浸透を防ぐことができました。朝鮮労働党は革命伝統を抹殺し、特に、ソビエト同盟国家を思想的に武装解除させた先代領袖を非難するような行為を許さなかったが、資本主義諸国における労働運動の役割は認めました。

創建初期からの朝鮮労働党の正しい政策的指導は、集団主義思想にもとづいています。これは朝鮮労働党が最近、新型コロナウイルス感染症の防疫戦で収めた成果にそのまま反映されています。朝鮮の現実とは対照的に、さる30年以上も他人はどうであれ、「自由と民主主義」の利己的観念を追及してきたチェコ共和国の現況を見ると、この国では新型コロナウイルス感染症と関連した特別措置が完全に無視され、違反されており、結局、世界最大の感染地域の一つとなりました。世界的な大流行病の発生以後、1年に130万名の感染者と2万1000名の死亡者を出しました。

チュチェ思想にもとづいた政治は形式的な服従ではなく、人民大衆の意識的な支持に依拠しています。強力に展開された文化革命は社会主義偉業の遂行で人民大衆の心をとらえました。人民朝鮮の文化と1980年代に崩壊直前の旧社会主義諸国の文化を対比的に見ても、朝鮮の大衆的行事を反革命以前の国々でおこなったそれと比べればすぐその差が分かります。自分の目で朝鮮での行事を見なかった人は、率直に人々の情熱的で戦闘的な姿を偽りとか、強要されたものだと言うかも知りません。

朝鮮労働党は民族分裂の悲劇が続き、占領された南半部では文化が腐敗する中でも解

放された北半部の社会ではブルジョア思想の毒素が扶植されないようにしました。むしろ革命は代を継いで継続されています。党第7回大会と第8回大会、党中央委員会の総会、政治局会議、そして最近、おこなわれた責任書記講習会が示しているように、金正恩総書記の指導の下に最近、敵の思想的・文化的浸透に反対する闘争と新世代の教育に大きな関心が払われています。

朝鮮民主主義人民共和国と社会主義が挫折した国々の今一つの大きな差は共和国が官僚主義と腐敗、党と人民を離間させることとの闘争を強力におこなっているということです。

これらはすべて金日成主席と金正日総書記の不滅の功績によって成されることができました。

金正恩総書記は金日成主席と金正日総書記の思想を金日成・金正日主義に命名しました。

わたしは共産主義運動および朝鮮との友好団体の活動家として、金日成主席に接見する光栄に浴した同志たちに行ってきました。彼らは異口同音に主席の立派な人格と暖かい友愛心、真心について回顧しながら、それは自分たちの心の中に永遠な追憶として残るだろうと話しました。

朝鮮の同志たちの親切な関心の中でわが友好代表団は錦繡山太陽宮殿におられる金日成主席と金正日総書記に数回も敬意を表し、金正恩総書記が参席した行事にも参加することができました。

革命偉業のために、もっとも困難な環境の中でも社会主義の赤旗を引き続き掲げていく朝鮮民主主義人民共和国との友好のために、今後もたたかい続けていくことはわれわれの義務であります。